

国語科 授業シラバス

科目名	単位数 (標準単位)	学科・学年・学級
実践国語	2単位 (学校設定科目)	芸術科第3学年6組

1 学習の到達目標

科目の目標	<p>①古典としての古文・漢文を読む能力を高め、古典についての理解や関心を深める。</p> <p>②評論文的に的確に理解し、ものの見方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。</p> <p>③現代文・古典分野、全範囲に対応する実力養成を図る。</p>
使用教科書 副教材	<ul style="list-style-type: none"> ・ 尚文出版『助動詞・助詞・敬語・識別 入試対策強化 解釈力の超トレーニング』 ・ 浜島書店『改訂新版 最新国語便覧』 ・ 桐原書店『読解を深める 現代文単語 評論・小説』 ・ 尚文出版『大学入試に出た 核心漢字2500+語彙1000』 ・ 尚文出版『新明説総合古典文法』 ・ 尚文出版『理解を深める 核心古文単語単語 351』 ・ いいずな書店『精説漢文 改訂版』 ・ 大学入試過去問

2 学習計画

学期	月	学習項目 (単元名等)	学習内容	評価の観点 評価規準	進捗 状況
1	4	オリエンテーション	年間を通しての授業の流れを確認する。	・教材に関心をもって取り組んでいる【関心・意欲・態度】	1 学期 中間 考 査
	5	古文助動詞の復習と演習	第1回 過去・完了 第2回 自発・可能・受け身・尊敬 第3回 使役・尊敬 第4～7回 推量・推定①～④ 第8～9回 打消・打消推量①～② 第10回 反実仮想・願望 第11回 断定・比況 第12回 助動詞の演習	(関) 学習に積極的に取り組んでいる。 (読) 学習内容を活用して、文章の内容を読解することができる。 (知) 古典を読むために必要な助動詞の基礎知識を理解している。	
	6	助詞の復習と演習	第1回 格助詞 第2回 接続助詞 第3回 副助詞 第4回 係助詞 第5回 終助詞 第6回 助詞の演習	(関) 学習に積極的に取り組んでいる。 (読) 学習内容を活用して、文章の内容を読解することができる。 (知) 古典を読むために必要な助詞の基礎知識を理解している。	1 学期 期 末 考 査
	7	助詞・助動詞の識別の復習と演習	第1回 「ぬ」「ね」「る」の識別 第2回 「に」「にて」の識別 第3回 「なむ」の識別 第4回 「らむ」の識別 第5回 助詞・助動詞の識別の演習	(関) 学習に積極的に取り組んでいる。 (読) 学習内容を活用して、文章の内容を読解することができる。 (知) 助詞・助動詞の基礎知識を活用して、識別の方法について理解している。	
		敬語の復習と演習	第1回 敬語法① 第2回 敬語法② 第3回 敬語の演習	(関) 学習に積極的に取り組んでいる。 (読) 学習内容を活用して、文章の内容を読解することができる。 (知) 古典を読むために必要な敬語の基礎知識を理解している。	2 学期 中 間

2	9～12	評論 小説 古典	過去問を中心に演習を行う。	(書) 文章の形態や文体、語句などに合った適切な表現の方法で書いている。 (読) 文章の構成や展開を確かめ、その意図を的確に捉えている。 (知) 書くことに必要な語句の、構造的な仕組みを理解している。 (知) 古典を読むための基礎知識を理解している。	間 考 査 ・ 期 末 考 査
3	1～2	評論 小説 古典	過去問を中心に演習を行う。	(書) 文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見などを適切に分けて記述している。 (読) 文章の構成や展開を確かめ、その意図を的確に捉えている。 (知) 書くことに必要な語句の、構造的な仕組みを理解している。 (知) 古典を読むための文語の決まり、訓読の決まりについて理解している。	学 年 末 考 査
<p>【年間の評価】</p> <p>※定期考査の成績、課題提出物の提出状況や内容を評価します。</p> <p>※提出物の中でも、誤答分析レポート提出を重視します。</p> <p>【その他】</p> <p>※授業は、予習前提で進めます。古文の場合は、該当作品の古典単語調べ、品詞分解などを事前に行い、現代語訳にも取り組んでおいて下さい。漢文の場合も、事前に文章を読み、現代語訳に取り組んで下さい。</p> <p>※副読本および古語辞典や漢和辞典などの辞書を用いる習慣を付けましょう。</p> <p>※月課題を課します。また、月課題は夏までに終了予定です。</p> <p>※各定期テスト後および必修模試後は、誤答分析レポートを提出してもらいます。</p> <p>※授業内容に応じて、月課題の他にも課題を課することがあります。</p>					

令和4年度 国語科 年間指導計画

教科名	国語	科目名	実践国語	学科	芸術科		授業担当者		
教科書	尚文出版『助動詞・助詞・敬語・識別 入試対策強化 解釈力の超トレーニング』			単位数	2単位		年間予定総時数	70時間	
校長検印		教頭検印		1学期		2学期		3学期	

国語科 授業シラバス

科目名	単位数（標準単位）	学科・学年・学級
実践国語	2単位（学校設定科目）	芸術科第3学年6組

1 学習の到達目標

科目の目標	<p>①古典としての古文・漢文を読む能力を高め、古典についての理解や関心を深める。</p> <p>②評論文的に的確に理解し、ものの見方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。</p> <p>③現代文・古典分野、全範囲に対応する実力養成を図る。</p>
使用教科書 副教材	<ul style="list-style-type: none"> ・尚文出版『助動詞・助詞・敬語・識別 入試対策強化 解釈力の超トレーニング』 ・浜島書店『改訂新版 最新国語便覧』 ・桐原書店『読解を深める 現代文単語 評論・小説』 ・尚文出版『大学入試に出た 核心漢字2500+語彙1000』 ・尚文出版『新明説総合古典文法』 ・尚文出版『理解を深める 核心古文単語単語 351』 ・いっずな書店『精説漢文 改訂版』 ・大学入試過去問

2 学習計画